

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	現在、朝食・昼食はタイヘイ、夕食は手作りで提供しているが、入居者の好みや希望を反映出来る機会が少ない。	入居者が食べたいもの、好きなものを提供出来る機会を増やし、「自分で決める」「自分で選ぶ」「自分で考える」力を発揮して頂ける支援をする。	昼食を手作りに変更する、外食の機会を増やすなどし、献立を考える際には入居者の意見を取り入れ、入居者本位の考え方が出来るようにしていく。	12ヶ月
2	10	面会時には家族に要望や意見を聞くようにしているが、遠方にお住まいであったりして、こまめに聞き取りを出来る機会が少ないことがある。	入居者や家族に希望・要望・意見を聞く機会を増やし、反映出来るようにする。	定期的な家族会の実施や面会時の聞き取りの他にも、満足度アンケートなどによる意見収集の機会を作るようにする。	12ヶ月
3	2	地域と関わりを持つ機会、事業所のことを知ってもらう機会がまだまだ少ない。	行事や認知症講座などを通して地域に開放された事業所を目指す。	児童館との交流については、夏祭りや運動会、クリスマス会など行事への招待や児童とその親御さんを対象にした認知症の講座の開催など、定期的交流以外にも積極的に関わりを持てるようにする。また昨年から開催している地域向けの認知症講座も継続して開催するなど、地域住民の方に事業所に足を運んで頂き、交流を持つ機会を増やしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。